

## 奈良市の姉妹都市「福島県郡山市」について

昭和46年、奈良市と郡山市は、それぞれに「采女伝説」が伝わっているご縁により、姉妹都市提携を結び50年以上になります。郡山市では、毎年8月上旬に「郡山うねめまつり」が開催され、市内の駅前大通りでは大勢の浴衣姿の市民で賑わう「うねめ踊り流し」が繰り上げられるなど盛大に行われています。



「郡山うねめまつり」の様子(提供:郡山市)

### 福島県郡山市の「采女伝説」

奈良時代に陸奥の国安積の里(現郡山市)では冷害が続き朝廷への貢物ができず、奈良からの巡察使・葛城王が訪れた際、里長の娘、春姫を采女として献上することを条件に、貢物を3年間免除し、春姫を都に連れて帰りました。しかし、春姫には相思相愛の許婚があり、恋しくなった春姫は、中秋の名月の日に、猿沢池に身を投げたと見せかけて故郷へと向いましたが、許婚はすでに山の井清水に身を投げており、春姫もその後を追ったといわれています。

采女伝説・郡山うねめまつり



10/6(月)

## 中秋は夜のならまちへ！

フォトジェニックな夜の町家を堪能できるこの機会に、風情のある奈良町の夜を味わってみませんか？

施設連携 夜間特別開館 ～20:30まで

入場無料  
・奈良町にぎわいの家 ・ならまち格子の家  
・奈良町南観光案内所

名勝大乗院庭園文化館では「観月の夕べ」を開催(17:30～20:30) 入園料300円、お茶席700円



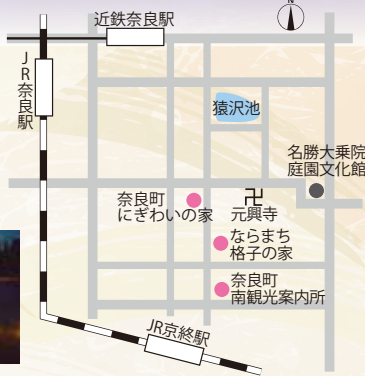
花とろうそくで演出(奈良町にぎわいの家)



蛸かごの優しい光(奈良町南観光案内所)



観月の夕べ(名勝大乗院庭園文化館)



主催：奈良市観光戦略課

## 中秋の名月

お月見スイーツを  
楽しもう！



うねめまつり

## お月見スイーツ×采女祭

開催期間

2025年 10月1日(水)～10月6日(月)



采女祭  
オリジナル絵馬が  
もらえるよ！

### 采女祭特別企画に参加しよう！

その1

参加スイーツ店で、開催期間中(10/1～6)に企画対象の商品(お月見スイーツ)を含めて、1,200円(税込)以上ご購入いただくと、店舗にて妖怪書家「逢香(おうか)」さんデザインの采女祭オリジナル絵馬がもらえます。【先着600枚限定】

その2

絵馬に願い事を書いて、采女神社へ奉納ができます。または、記念にお持ち帰りください。  
\*采女神社には、絵馬に願い事を書いていただくための利用スペースは設けておりませんので、各自事前にご記入の上、ご奉納ください。

【注意】

- 各店舗によって、販売期間が異なります。
- 1店舗1回の会計で1,200円(税込)以上ご購入いただいた場合となります。他店との合算はできません。
- 1店舗で2,400円以上ご購入いただいた場合でも、絵馬は1枚のお渡しとなります。



采女祭オリジナル絵馬  
デザイン：妖怪書家 逢香(おうか)

企画・問い合わせ先 采女祭保存会事務局(奈良市観光協会内)  
TEL:0742-30-0230(平日:9:00～17:00)



## 中秋の名月「采女祭(うねめまつり)」行事ってなあに？

### 采女伝説

『大和物語』によると、「奈良時代に帝に仕えていた采女が帝のご寵愛が衰えたのを嘆き、猿沢池の畔の柳の木に衣を掛けて池に身を投げてしまった。それを哀れに思われた帝が、その霊を慰めるために社をお建てになったが、わが身を投じた池を見るにしのびないと、一夜のうちに社を後ろ向きにした」と伝えられています。

### 采女神社の不思議

池に身を投げた采女は、自分が身を投げた池を見るのは辛く、一夜のうちに社をくりりと後ろ向きに。

悲恋の伝説が残されていますが、後に采女は、人々には自分と同じ悲しい思いをしてほしくないと、縁結びの神様に♡

うねめ  
「采女」とは、奈良時代に宮中で  
帝(天皇)のお世話をしていた  
女性です。



写真提供：春日大社



采女神社



猿沢池

「猿沢池の月」は、奈良の美しい  
景色・南都八景のひとつです！

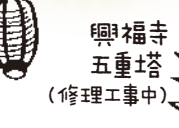
管絃船は、龍頭船と  
鶴首船の2隻で  
一対だよ！



### 日本百名月

2020年に、「采女神社・猿沢池にのぼる月／采女祭」として、猿沢池と采女神社の2つの鑑賞地、さらに采女祭が総じて「日本百名月」に認定されました。

興福寺では、  
毎年4月に猿沢池に  
魚を放して供養する  
「放生会」が行われます。



興福寺  
五重塔  
(修理工事中)

五十二段



衣掛柳の石碑

采女は  
ここにあった  
柳に衣をかけて  
池に身を投げたと  
いわれています。



管絃船の儀

### 采女祭

采女祭は、毎年中秋の名月に行われる春日大社末社・采女神社の例祭で、采女の霊を慰め、同時に人々の幸せを祈ります。

午後5時からの花扇奉納行列では、秋の草花で美しく飾られた2m余りの花扇を載せた車を中心に、十二単姿の花扇使や天平衣装をまとった人々総勢約200名が市内を練り歩きます。

午後6時から采女神社において、春日大社神職による厳かな神事が行われ、午後7時に南都楽所の奏する雅楽が流れる中、2隻の管絃船が猿沢池を巡り、最後には花扇を池中に投じる雅やかな行事です。

令和7年 10月5日(日)

●宵宮祭 17時～(采女神社)

令和7年 10月6日(月)

●花扇奉納行列 17時～(JR奈良駅～采女神社)

●例祭(花扇奉納神事) 18時～(采女神社)

●管絃船の儀 19時過ぎ～(猿沢池)

花扇奉納神事終了後に公演(猿沢池)

特別公演「篠笛奉納演奏」

「采女おとがたり」

・篠笛奏者／佐藤和哉



花扇奉納行列

### 猿沢池の七不思議

「澄まず濁らず出ず入らず蛙はわかず  
藻は生えず魚が七分に水三分」

「猿沢池の水は、決して澄むことなく、また濁ることもない。常に一定の水量を保っていて、なぜか蛙はいないし、藻も生えない。毎年多くの魚が放たれるのに溢れる様子がない池。」と昔から伝えられています。

### 龍神伝説

こんな伝説も  
あるよ！

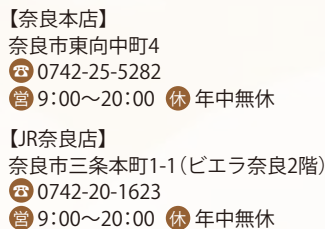
猿沢池には大昔、龍神さまが住んでおりました。しかし、采女が、猿沢池に身を投げてしまい、池がけがれてしまったため、龍は春日山の龍王池に移り、さらに最後は奈良県宇陀市の室生の龍穴へ移ったといわれています。



**参加**  
**スイーツ店**

※掲載内容は2025年8月現在のものです。状況により、営業時間・定休日等が記載と異なる場合があります。事前に店舗へご確認の上、お出かけください。  
※表示価格はすべて税込価格・テイクアウト価格です。

## JR奈良店



至 京都

近鉄奈良線

至 大阪難波

JR 関西本線 (大和路線)

JR 奈良駅

至 天王寺

近鉄奈良駅総合観光案内所

369

高天

近鉄奈良駅

④ たまうさぎ (近鉄奈良駅構内B1)

⑤ 御菓子司 萬勝堂

① 光悦 奈良本店

漢國神社 (林神社) 門

大和茶大福専門店 GRANCHA

⑥

⑦ 千代の舎 竹村

上三条町

通町商店街

小西さくら通り商店街

ひがしむき商店街

興福寺

③ 奈良市観光センター「NARANIC (ナラニク)」

② 光悦 JR 奈良店

① 奈良市総合観光案内所 (旧 JR 奈良駅舎)

三条通ショッピングモール

三条通り

率川神社 門

伝香寺 門

⑪ 大仏いちご

⑧ 萬々堂通則

⑨ 御菓子処 優月

⑩ 絵図屋

① 奈良県 猿沢イン

猿沢池

采女神社

ならまちセンター

なら工芸館

やすらぎの道

お願い

絵馬は、采女神社に奉納できますが、神社には願い事を書いていただくための利用スペースは設けておりませんので、各自事前にご記入の上、ご奉納ください。

「十五夜」とは、旧暦における毎月15日の夜の  
ことですが、秋ごろに昇る月が美しく見える  
ことから「十五夜といえば中秋の名月」という  
意味で使われることが多くなっています。十五  
夜には月見団子やすすきを飾り、月を愛でる  
習慣が残っていますが、かつては里芋などの  
収穫物をお供えしていたことから「芋名月」と  
も。また、十五夜のおよそ一ヶ月後の旧暦9月  
13日の月を愛でる「十三夜」という風習もあり、  
栗や豆の収穫祝いを兼ねて「栗名月」「豆名月」  
と呼ばれています。

